

1つでもチェックがつくと、  
薬物依存症かも…

こんなことで  
困っていませんか？

あなたの身近な人が…

- いくら言っても、くすりを止めない
- くすりで警察に捕まった
- くすりで刑務所・少年院に入っている
- くすりで精神科に入院している

したことがある

もしかして、  
こんなことはありませんか？

- 体重の激減・激増
- ずっと起きている
- 使い道のわからない借金がある  
/金遣いが荒くなる
- くすりらしきものを見つけた  
/くすりを使っていると知った
- 注射器・アルミ箔をみつけた
- 変なおいがする
- いくら言っても、くすりを使っている友だちと遊ぶ
- 多弁で、話にまとまりがない

一緒に考えていきませんか

家族だけでの解決は難しい、だから…



ダルク  
NPO法人 京都DARC

TEL.FAX/075-645-7105

月曜日～土曜日 9:30～17:30

京都市伏見区深草西浦町6-1-2 サンリッチ西浦1F

<http://www.yo.rim.or.jp/~kyo-darc/>

このリーフレットは、「エスールエムいのちの基金」の助成金により作成されました。

# 薬物依存症

あなたの身近な人が…

かもしれません

薬物の種類

大麻、覚せい剤、  
シンナー、MDMA、  
ガス、鎮痛薬、  
睡眠薬、鎮咳薬  
など

Drug Addiction Rehabilitation Center  
DARC

ひとりで抱えこまないで

うんざり...から

# 希望へ

## 家族からの声

娘は、覚せい剤で何度も刑務所に入っています。娘が出所する度に「今度こそ、くすりを止めてくれる」と期待していましたが。また娘には子どもがいるので「母親になるためにくすりを止めて立ち直るだろう」と思っていました。でも、子どもをほったらかし、くすりを使っている娘の姿を見て、「どうしたらいいんだろう?」と悩みました。相談に行っても「お母さん、がんばって」と言われるだけでした。さらに「(薬物を)止める方法はない」「(薬物で)死ぬだろう」と言われ、目の前が真っ暗になったことも何百回もあります。でも、絶望している自分を100%認めてしまうと、私自身が生きていけないので、「いつか気づいてくれる」と小さな希望を懸命に膨らます日々でした。京都DARCの「家族ケア」を受け始めて、精神的に「大丈夫」という落ち着きを感じ始めました。今までは「ただ先が長い」だけ。今は、先に、楽しみや希望があると確信しています。

(M.M)

“どうにかしなければ”と疲れ切ってしまう前に…

## 京都DARC「家族ケア」へのお誘い

### その1

身近な人の薬物依存症で悩んでいるご家族が「薬物依存症」を学び、気持ちを分かち合う場「**家族プログラム**」を**毎月第4日曜日**の**午後2時から4時**に行っています。



### その2

そして、薬物依存症者の家族に共通したテーマで、年に1~2回

「**家族のためのワークショップ**」を開催しています。



### その3

また、個々の対応をカウンセラーと一緒に考える

「**個人カウンセリング**」を**予約制**で行っています。



- すべて無料です。
- 秘密は厳守します。

お問い合わせは京都DARCまで

**TEL.FAX/075-645-7105**

※京都DARCは、薬物依存症のリハビリ施設です。